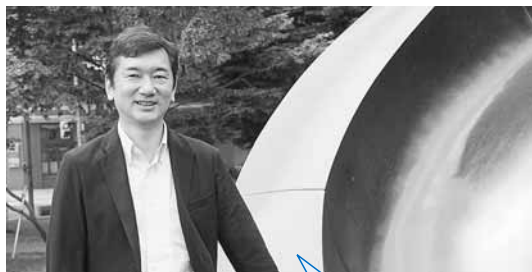


## 彫刻

大小さまざまな彫刻・記念碑が置かれている大通公園。その数は18基にのぼります。戦前は開拓に功績のあった3人の銅像(戦争中に供出)が、戦後は平和を象徴する彫刻が主に置かれました。また、平成5年には世界的な彫刻家イサム・ノグチの「ブラック・スライド・マントラ」を設置。「9丁目にある滑り台を生かし、子どもたちの遊びの空間を広げたい」。そうしたノグチの思いを実現するため、道路で分断されていた8丁目と9丁目をつなぎ、そのほぼ中央に設置しました。



イサム・ノグチを札幌市に紹介した  
(株)カスケード ほっとり ひろゆき 服部 裕之さん

ノグチさんとは知人の紹介で出会いました。彼が公園や遊具の作品を構想しながら、アメリカでは実現できなかったことを聞き、札幌への設置を持ち掛けました。ブラック・スライド・マントラがそうであるように、彼はいつも「誰かのためになる作品」を意識していたと思います。これからも大通公園で彼の思いが生き続けてほしい。そう願っています。



昭和  
10年代

↑西11丁目の様子。戦時中に金属材料として供出された初代北海道庁長官・岩村通俊像が見える(写真右)

## 市民が支えてきた

## とうきび

大通公園でのとうきび売りの屋台は、明治30年代にはすでに出ていました。現在は4～10月、西1～4丁目を中心に札幌観光協会がワゴン販売しています。食生活の変化に伴い、最盛期には年間約93万本だった売り上げ本数は約13万本まで減少しているものの、札幌の名物として今も市民や観光客に親しまれています。



昭和56年から大通公園で  
とうきびを販売 かわぞこ やすこ 川底 安子さん

とうきびのワゴン販売をするようになった当初も、大通公園は今のようの子連れの方やお弁当を食べる方でにぎわっていました。当時は1日に1,000本売れる日もあったんですよ。売り上げは減りましたが、味は昔よりずっと甘くておいしいです。札幌に来ると必ず買いに来てくれる本州の常連さんもいるので、私も体が動く限り、この仕事を続けたいです。



昭和  
38年

↑当時のとうきび売りの風景

大通公園とうきび  
50円引きクーポン

1本300円  
⇒250円

- 有効期間:平成23年9/1(木)～30(金)
- コピー不可 ●他の割引との併用不可
- 販売員に提出 ●1枚につき4本まで

## 花ゾーン

12丁目



中央を流れる水路の周りを美しいバラが彩るサンクガーデン(沈床庭園)。西側には佐藤忠良作「若い女の像」が設置されている。

11丁目



ドイツ・ミュンヘン市との姉妹都市提携を記念して建てられた「マイバウム」。春の訪れを喜ぶ「5月の木」を意味している。

10丁目



札幌をはじめ北海道の開拓に功績を残した黒田清隆(写真右)とホーレス・ケブロン(写真左)の像が立つ。いずれも昭和42年に建立。